

# 茨城県高等学校審議会

## 第2回総会要項

期 日 平成20年3月26日(水)

会 場 ホテルレイクビュー水戸

# 次 第

1 開会

2 委員長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 議事

(1) 専門部会審議経過報告

(2) 「生徒減少に対応した活力ある県立高等学校づくりを図るための学校の適正規模・適正配置について」のまとめ案検討

5 閉会

## 諮問文

### 高教諮問第1号

茨城県高等学校審議会

社会の変化や生徒の能力・適性等の多様化に対応する本県県立高等学校教育の基本的施策を樹立する必要があるので、茨城県行政組織条例（昭和38年茨城県条例第45号）第22条の規定により、下記の事項について意見を求める。

平成19年8月8日

茨城県教育委員会委員長 石渡 千恵子

### 記

- 1 生徒減少に対応した活力ある県立高等学校づくりを図るための学校の適正規模・適正配置について
- 2 産業構造等の社会の変化や生徒の多様化に対応した魅力ある学校・学科の在り方について

#### （諮問理由）

教育委員会は、茨城県高等学校審議会の答申等に基づき、学科の改編、学校の統合並びに全日制課程の単位制高等学校及び総合学科の開設など、県立高等学校教育の改善・充実に努めているところであるが、生徒減少が引き続き見込まれることに加えて、社会の変化や生徒の多様化が一層進んでいる状況にあるため、全県的な視野に立って、平成32年度を目標年度とする県立高等学校に関する次の事項について検討する必要がある。

- 1 生徒減少に対応した活力ある県立高等学校づくりを図るための学校の適正規模・適正配置について

本県の中学校卒業生については、平成元年3月卒業生をピークとして減少してきた。今後も平成29年度まで緩やかな減少傾向が続き、さらに平成30年度以降は再び急激に減少することが見込まれている。

このような状況に対応するため、今後の生徒減少に対応した活力ある県立高等学校づくりを図るための学校の適正規模と適正配置について検討する必要がある。

- 2 産業構造等の社会の変化や生徒の多様化に対応した魅力ある学校・学科の在り方について

国際化や情報化の一層の進展、科学技術の発展、産業構造や雇用形態の変化など、高等学校教育を取り巻く社会環境が著しく変化する中で、生徒の能力・適性、興味・関心、進路等が多様化している。

このような状況に対応するため、今後の県立高等学校について学校の在り方や学科の編成配置について検討する必要がある。

審議経過

期 日	会議の種類	審 議 内 容	会 場
平成19年 8月8日	第1回 総会	1 委員長，副委員長選出 2 諮問事項説明，資料説明 3 専門部会設置	ホテルレイク ビュー水戸
平成19年 9月28日	第1回 専門部会	諮問事項1「生徒減少に対応した活力ある県立高等学校づくりを図るための学校の適正規模・適正配置について」の審議計画の協議	茨城県市町村 会館
平成19年 11月15日	第2回 専門部会	1 参考人からの意見聴取 (1) 県立高等学校の在り方について (2) 県立高等学校の再編整備について 2 参考人との意見交換	県庁
平成19年 12月20日	第3回 専門部会	諮問事項1「生徒減少に対応した活力ある県立高等学校づくりを図るための学校の適正規模・適正配置について」の協議 (1) 募集定員と学級数 (2) 学校の適正規模・適正配置 (3) 学校の統合の在り方	茨城県開発 公社ビル
平成20年 1月22日	第4回 専門部会	諮問事項1「生徒減少に対応した活力ある県立高等学校づくりを図るための学校の適正規模・適正配置について」の協議 1 募集定員と学級数 2 学校の適正規模・適正配置 3 学校の統合の在り方	県立歴史館
平成20年 2月20日	第5回 専門部会	1 諮問事項1「生徒減少に対応した活力ある県立高等学校づくりを図るための学校の適正規模・適正配置について」の協議 ・学校の統合の在り方 2 諮問事項1のまとめ案検討	県庁
平成20年 3月26日	第2回 総会	1 諮問事項1「生徒減少に対応した活力ある県立高等学校づくりを図るための学校の適正規模・適正配置について」の専門部会検討内容の報告 2 諮問事項1に係る第1次答申案検討	ホテルレイク ビュー水戸

茨城県高等学校審議会委員・幹事

(1) 委員

( 印は専門部会委員，五十音順 )

委 員 名	職 名 等
飯 野 重 男	茨城県議会議員
海 野 透	茨城県議会議員
海老澤 孝 憲	茨城県高等学校 P T A 連合会会長
大 金 文 郎	茨城県立水戸第二高等学校長
大 川 慶 一	茨城県教育弘済会常任顧問
大 窪 修 二	青少年育成茨城県民会議副会長
岡 野 一 男	茨城県高等学校教職員組合執行委員長
小 野 勝 久	明秀学園理事長
加 納 昌 子	加納商店副代表
川 上 美智子	茨城キリスト教大学教授
川 田 弘 二	阿見町長
川 又 諭	日立ライフ代表取締役社長
菊 池 龍三郎	茨城大学学長
串 田 武 久	龍ヶ崎市長
上 月 良 祐	茨城県総務部長
五味田 優	茨城県立水戸第一高等学校長
佐 藤 和 夫	水戸市立第二中学校長
柴 田 文 弘	日立製作所日立事業所副事業所長
城 倉 純 子	大学婦人協会茨城支部長
鈴 木 一 司	水戸市立新莊小学校長
鈴 木 慶 子	茨城県 P T A 連絡協議会女性ネットワーク委員長
高 野 富二男	茨城県教職員組合執行委員長
高 橋 健 彦	東海村教育委員会教育長
堤 千賀子	茨城県 P T A 連絡協議会顧問
副委員長 専門部会副部長 中 原 一 博	茨城県教育庁教育次長
委員長 西 野 虎之介	常陽銀行経営顧問
野 口 芳 男	茨城県経営者協会専務理事
袴 塚 禮 子	はかまつかでんき代表取締役
長谷川 修 平	茨城県議会議員
廣 瀬 和 喜	茨城県私学協会会長
深 谷 めぐみ	茨城県青年団体連盟会長
水 本 徳 明	筑波大学大学院准教授
武 藤 賢 治	茨城県商工労働部長
山 口 武 平	茨城県議会議員
副委員長 専門部会部長 山 根 爽 一	茨城大学教授

## (2) 幹事

氏 名	職 名
高 安 明 美	茨城県総務部 総務課私学振興室長
鴻 田 利 雄	茨城県教育庁 総務課長
齋 藤 勉	” 企画広報室長(平成19年9月30日まで)
守 谷 孝 行	” 企画広報室長(平成19年10月1日から)
萩野谷 茂	” 財務課長
市 川 浩 之	” ” 主査兼施設担当係長
横 瀬 晴 夫	” 義務教育課長
沼 平 助	” ” 副参事
幹事長 後 藤 克 己	” 参事兼高校教育課長
秋 山 久 行	” 高校教育課副参事
山 崎 裕	” ” 課長補佐(総括)
山 口 修	” ” 管理担当課長補佐
小田部 幹 夫	” ” 人事担当課長補佐
原 篤 範	” ” 指導担当課長補佐
井 坂 隆	” ” 高校教育改革推進室長
平 塚 弘 之	” ” ” 室長補佐(総括)
横須賀 雅 弘	” ” ” 主査

参考人

氏名	職名
原 清 勝	大子町立大子中学校校長
島 田 由瑞子	つくば市立手代木中学校教諭
沼 田 俊 明	茨城県立常陸大宮高等学校校長
正 木 則 久	茨城県 P T A 連絡協議会副会長
曾 我 日出夫	茨城大学教育学部教授